中部版

地域の催しは静岡支局へ ☎054-285-8181

静岡市

両河内スマートIC 連絡道路整備へ

国土交通省の両河内スマートインターチェンジ（IC）の連結許可を受けて、静岡市は料金所より手前の連絡道路の整備に乗り出す。予算化されれば2022年度にも設計に着手し、その後用地交渉などに移行していく。

同スマートICは、中部横断自動車道の清水いはらICから北へ7・4㌔、富沢ICから南に15・1㌔、中部横断自動車道と興津川が交差する北側付近の両河内地内（清水森林公園やすらぎの森付近）に計画されている。24時間、上下線からの乗降が可能な本線直結となる。

料金所から本線への擦り付け部まではNEXCOが担当、市は料金所から取り付け道路までの連絡区間の整備を担当する。

IC形式についてはトランペット型やY型、ダイヤモンド型や平面Y型など、複数の形式の比較検討を進めているが、現時点では確定していないもよう。

取り付け道路までの連絡道路は、形式によっては延長1㌔を上回るが、山間の限られたスペースに設置することからかなり絞り込まれているとみられる。また、ICは山間のため、連絡路も含めて切土や盛土が中心となるが、市では、既設のボックスなども利用しながらできるだけコストを抑える方向を検討する方向だ。

両河内ICは、国交省から20年9月に準備段階調査の採択が下りた後、8月6日に連結に関する事業許可された。

静岡土木

遊歩道など設計着手

麻機遊水地 加藤島エリア 堰堤に整備へ

静岡県静岡土木事務所は、麻機遊水地の堰堤で遊歩道などの整備を計画しており、設計業務に着手した。昭和設計（静岡市葵区）が2022年1月24日納期で進めている。

対象は、同遊水地第2－1工区の加藤島エリア。計画では国道1号（静清バイパス）と県道山脇大谷線に面した堰堤を中心に周遊可能な環境整備を行う。今後、地域住民とワークショップを開催して、具体的な整備や必要な施設などの検討を進めていく。県では、ポケットパークや遊歩道、ベンチ、植栽などの整備を想定している。工事は22年度以降となる見込み。

同遊水地は、治水関連は県、その他整備は静岡市が担当しているため、必要な施設決定後に市と協議して発注方式などを検討する予定だ。

麻機遊水地 加藤島エリア

静岡市が興津大沢改修 本年度分を月末発注

静岡市は流下能力が不足している興津大沢の改修を、格付等級指定型で8月末に発注する予定だ。

興津大沢は2017年度から改修工事を進めており、全体の施工延長は256㍍。そのうち、129㍍の施工は20年度までに完了しており、今回の工事では、上流側32㍍と下流側31㍍の計63㍍、面積は139平方㍍が対象となる。上流側は護岸工と床固工の整備で、護岸工は岡沢が天然川岸のため、両側延長64㍍にコンクリートブロックを設置する。床固工は一部コンクリートを敷く予定。

下流側の護岸整備は完了しているが、高さが不足しているため嵩上げ工事を行う。延長31㍍を約300㌧上げる予定だ。

場所は承元寺町地内の由比トンネル付近。

設計はスルガコンサル（静岡市駿河区）が担当した。

来年度以降に残りの延長60㍍の護岸工事を発注する予定だ。

焼津漁港管理

E・F区間の高潮陸閘整備 中央コンで基本設計着手

静岡県焼津漁港管理事務所は、焼津漁港海岸高潮陸閘の整備を計画しており、基本設計にタンツ静岡事務所（静岡市葵区）が2022年2月15日納期で進めている。

対象は、焼津漁港海岸のE・F区間で、黒石川幹線水路北側付近。陸閘の延長はE区間では約10㍍、F区間では約6㍍程度を想定。高さは約1・5㍍で構造は鋼製となる見込み。幅員など具体的な規模は設計の中で決める予定でいる。

工事は、22年度以降を予定している。

FACE フェイス

静岡商工会議所初の副会頭に就任（藤田電気専務、フォーチュン藤田代表）

藤田 綾子（ふじた・あやこ）さん

脱炭素、DXなど対応が大切

人口減少の中、「自然、経済に恵まれた」静岡の地の利を生かし「若者が安心して子育てして暮らせる街にしたい」と抱負を語る。そのためには、「脱炭素への取り組みやDXへの対応が大切」と前衛的な視点が光る。

エコアクション21に取り組んで10年、社のキーワードも「省エネ」。実父が創業した藤田電気の専務として、社長である夫を支える。

「デジタル化社会だから男女平等に活躍できる」と、建設業への女性入職にも一見識。子育て、介護も経験した立場から、「仕事も人生も社員と共に乗り越えていきたい」。

座右の銘は、ブータンのワンチク元国王の「人の世に不変なるものは変化のみ」で、変化を受け入れ、変革を常とする。

看護師と助産士の資格を持ち、静岡市立病院で勤務した後、藤田電気に入社。趣味は料理。親しみやすく明朗な人柄が魅力。静岡市葵区出身、在住。

（静岡支局＝藤原崇弘）

藤枝市の20年度工事検査 最高は86点

藤枝市は、2020年度工事検査結果を公表し、工事検査件数は195件（19年度176件）、平均点は78・6点（同78・1点）、最高点は86点（同87点）だった。

内訳はAランク（特に優れているもの100～85点）3件、Bランク（優良であるもの84～79点）116件、Cランク（普通であるもの78～70点）73件、Dランク（やや劣るもの69～60点）3件、Eランク（劣るもの59点以下）0件となった。19年度と比較すると、Aランクは1件、Bランクは26件増加し、Cランクは8件減少した。

主な工種別の平均点は、土木一式78・4点（100件）、建築一式78・8点（20件）、とび・土工・コンクリート73点（1件）、電気79・4点（16件）、管78・9点（14件）、舗装80・3点（4件）、塗装76・2点（13件）、水道施設80・2点（24件）。

Aランクとなった理由として、ICT重機を活用した創意工夫、優れた施工管理・品質管理、良好な対外関係などを挙げた。

査察では①工事着手の遅れ・工程の遅れ②施工状況（路盤転圧時の摩擦（じんあい）対策）③現場管理（側溝天端の破損箇所修繕）④現場代理人などの常駐⑤現場周辺の交通安全対策（バリケードなどの設置不備、舗装破損箇所の修繕）⑥工事関係掲示物の未設置・設置不備（建設業許可票の未掲示、記入内容の間違い）―を指摘した。

地域NEWS

駿河支部を設立 初代会長に磯谷氏

空き家アドバイザー協議会

全国空き家アドバイザー協議会の静岡県駿河支部が設立され、18日に静岡市内で設立総会が開かれた＝写真。初代会長には大王電機（静岡市葵区）の磯谷洋之社長が就任した。

総務省の2018年の住宅・土地統計調査によると、空き家数は全国で約848万戸となり、静岡県内でも8万戸が発生している。

磯谷会長は「管理が行き届かない空き家は防災、衛生などの面で住民生活に影響を与える可能性がある。会員一同、協力して課題が解消できるよう取り組んでいきたい」と話した。

駿河支部では今後、空き家バンクなどと連携した問題解決のサポート事業や空き家発生抑制への取り組み、空き屋流動化の促進などを中心に事業を進める。

設立総会ではその他、全国空き家アドバイザー協議会の井上幸一専務理事が「空き家課題解決に取り組む理由とその期待理由」と題したセミナーを実施した。

インターンシップに協力

橋本組

橋本組（焼津市、橋本真典社長）は18～19日、大学生・専門学校生を対象にインターンシップを実施した＝写真。

静岡県内の建築・土木を専攻する学生14人が参加。

18日の設計体験では、「カフェを併設した住宅」を題材にして、設計体験を行った。設計後に自身の案を発表、社員らが講評した。

その他、建築・土木の現場見学、全旋回式クレーン船「橋本丸」の乗船体験、生コンクリート工場の見学などを行った。

新型コロナウイルス感染症の抗原検査を行った上で、マスクを着用して実施している。同社の夏のインターンシップ開催は4年目となる。

防カビ・抗菌製品開発 / 抗ウイルス剤OEM
守護神&カビ守護神
細菌・カビ菌・ウイルスへの業界トップレベルの632菌への効果
●樹脂に練りこみ抗菌製品に
●製品製造過程で添加して防カビ
●バインダーに混入し製品表面を抗菌加工
●塗布浸透させて製品を抗菌加工
ウレタン素材
浸透させて28日後比較
処理なし
カビ守護神
水性塗料添加
塗料添加で塗布28日後比較
処理なし
カビ守護神
《カビ・ウイルス・細菌対策部門》静岡市駿河区小鹿1394番地の1
有限会社 アール・シー ウメハラ
TEL.054-203-6477
カビ守護神
検索